



23 建企第 449 号
平成 23 年 12 月 12 日

社団法人 長崎県建設業協会
会 長 谷村 隆三 様

長崎県土木部
建設企画課長



事故防止の取り組みについて

今年もいよいよ残りわずかとなってしまいましたが、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本県土木行政に御理解、御協力を賜り、ありがとうございます。

貴団体は日頃から事故防止について傘下の各団体員へ御指導いただいていることと思いますが、今年度は例年と比べて事故発生件数が多く、更なる事故防止への取り組みが必要と考えます。そこで、今年度の事故発生件数状況および最近の事故例をお知らせしますので、再度、適切な対策を講ずるようご指導を願います。

記

1. 今年度の事故発生件数について

現在までの事故件数の累計 28 件は、昨年度同時期の 18 件と比べて 10 件多くなっており、既に昨年度合計 25 件を越えています。また、事故の傾向として、「手足の挟まれ事故」が 5 件、「転落・墜落事故」が 3 件発生しています。

事故件数の増加や類似事故の繰り返しは、実際に作業に当たる作業員の皆様へ指導が伝わっていないことも考えられ、隅々へ伝わる取り組みが必要です。

(参考) 平成 22、23 年度 土木部関係事故発生状況 (件数) 11 月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23	3	2	4	2	5	4	5	3					28
累計(a)	3	5	9	11	16	20	25	28					
H22	1	0	1	6	2	5	1	2	3	0	2	2	25
累計(b)	1	1	2	8	10	15	16	18	21	21	23	25	25
(a)-(b)	+2	+4	+7	+3	+4	+5	+9	+10					

※土木部全工事、水産部漁港工事、委託業務を含みます。

2. 事故例

①一人が脚立(H=1.8m)を押さえ、もう一人が脚立上で作業を行った際、脚立上の作業員がバランスを崩して転落した。

- ・ 請負者は、脚立の単独使用を極力避けるように指示していたが、作業員まで指示が徹底していなかった。
- ・ 被災者は、慣れもあり作業高さが低いと感じ、危険と考えていなかった。
- ・ 被災者は、現場入りが午後であったことから、朝礼や KY 活動に参加せず、安全に関する指導も受けていなかった。

②掘削片の飛散防止を目的としたシート(H=5.3m)が突風により公道側に倒れ、第3者の車両に接触した。

- ・受注者は、悪天候における安全措置はおろか、天候の把握さえ怠っていた。
- ・受注者は、仮設物の構造的安全性の確認を行い、気象情報・風速計・吹き流しにより天候の把握に努め、安全が確保できない異常気象時には、撤去する等による速やかな安全措置が必要。
- ・作業終了により不要となった場合には、速やかな撤去が必要。

担当課：長崎県土木部建設企画課 技術情報班 米田 三厨 095-894-3023
--